

地域連携室における実習指導者の学習支援の実際

著者	鵜飼 知鶴, 畑 吉節未
雑誌名	神戸常盤大学紀要. 別冊
号	12
ページ	2-2
発行年	2018-10-31
URL	http://id.nii.ac.jp/1492/00000985/

地域連携室における実習指導者の学習支援の実際

鵜飼知鶴¹⁾

畑 吉節未¹⁾

本研究の最終目的は、看護基礎教育における多職種連携に向けた教育プログラムを開発することである。そのためこれまで「療養通所介護事業における多職種連携の実際」「療養通所介護事業に従事する看護師が捉える訪問看護師との連携に実際」「療養通所介護における多職種連携のレベル、多職種から見た場合」の研究を通し、医療依存度の高い療養者を対象とした療養通所介護事業において、多職種と連携した療養者の支援の実際を明らかにした。また、「地域医療連携室における実習での学生の学び」「地域連携室における実習指導者の学習支援の特徴」の研究を通し、地域連携室における多職種と連携した退院支援の実際の学習成果と学習支援の方法を明らかにした。

当研究は、その1つであり、地域連携室における実習指導者の指導の実際に関する語りをもとに指導者の学習支援の特徴を明らかにすることを目的とする。地域連携室における指導者の学習支援の実際は、5名の語りより5カテゴリーが抽出された。その内容は、【学生の関心や願いに焦点化する】【生活を再構築するための学ばせたいプロセスを明確化する】【学びの場を提供する】【実践の意図を説明する】【自己の指導を振り返り評価する】であった。これらには、《多職種をタイムリーにダイナミックに巻き込みながら学生の支援をしている》《学生の理解度に焦点を当てた支援》という2つの特徴があった。

1) 保健科学部看護学科